

Piano Romántico

~Akiko Nomoto Piano Recital~



バシセリナの風

野本晶子ピアノリサイタル

- 第1部 E・グラナドス 練習曲（遺作）アンダンテ・エスプレッシーヴォ
E・グラナドス 組曲「ゴイエスカス（ゴヤ的な風景）」より
嘆き、又はマハと夜鳴きうぐいす
エル・ペレレ（わら人形）
- F・モンポウ 歌とおどり 第5番
F・モンポウ 「子供の情景」より 庭の娘たち
C・スリニャック 3つのスペインの歌とおどり
- 第2部 F・ショパン 子守歌 Op.57
S・ラフマニノフ ソナタ第2番 Op.36（1931）
Allegro agitato
Non allegro - Lento -
L'istesso tempo - Allegro molto

札幌時計台ホール

2011/8/6 土

19:00 開演 [18:30 開場]

入場料 2000円（全席自由）

主催 ピアノワークス

後援 スペイン大使館

在札幌スペイン名誉領事館
札幌市、札幌市教育委員会

協力 エルム楽器

pianoworks
sapporo



●札幌時計台ホール 札幌市中央区北1条西2丁目 Tel: 011-231-0838

●お問い合わせ先 ピアノワークス E-mail: info.pianoworks@gmail.com

●チケット取り扱い場所 エルム楽器、ヤマハ札幌店、大丸プレイガイド、4丁目プレイガイド



PROFILE

野本晶子 (のもと・あきこ)

函館市生まれ。スペイン・バルセロナ在住。

堀内由美子、中村隆夫、遠藤道子各氏のもとでピアノを学ぶ。

北海道教育大学札幌校卒業後、スペインのマーシャル音楽院にて20世紀を代表するピアニストの一人アリシア・デ・ラローチャに師事。スペイン音楽を中心に学び、マスターコース修了後は同音楽院で後進の指導にもあたる。

現在はフリーで演奏活動中。

国際的カステネット奏者のルセロ・テナと共演するなど、スペイン音楽の演奏にはバルセロナをはじめスペイン国内でも定評がある。

2000年 Musica en Compostela にてアンドレ・セゴビア賞受賞。

2001年エンリケ・グラナドス国際ピアノコンクール第3位。

カタルーニャ国営テレビTV3、Canal 33、ラジオカタルーニャムシカ、スペイン国営ラジオ等に出演。

これまでに、ドイツ、スペイン、スイス、オランダ、日本、メキシコ各地で演奏活動を行う。

スタジオ「タクスディール・オンザ」主宰。

<http://www.myspace.com/akiconomotopiano>

スペイン音楽評

- ◆ アキコの弾くモンポウの作品の演奏は素晴らしく、そこには彼女の類まれな音楽の才能と、勉学に励む粘り強さが見出される。——カルメン・ブラーボ (モンポウ未亡人)
- ◆ まるで幼少の頃から彼女の血管にグラナドス音楽の魂が流れていたかのようなのである。彼女のダイナミックな演奏は、時にはピアノが小さく感じられるほどである。——シャヴィエー・チャバリア (カタルーニャ音楽評論家)
- ◆ 日本人の繊細さとスペイン人の大胆さ、官能さを併せ持った絶妙なコントラストを誇るピアニストだ。——エドゥアルド・モンテス (メキシコ、ラス・ローサス音楽大学教授)